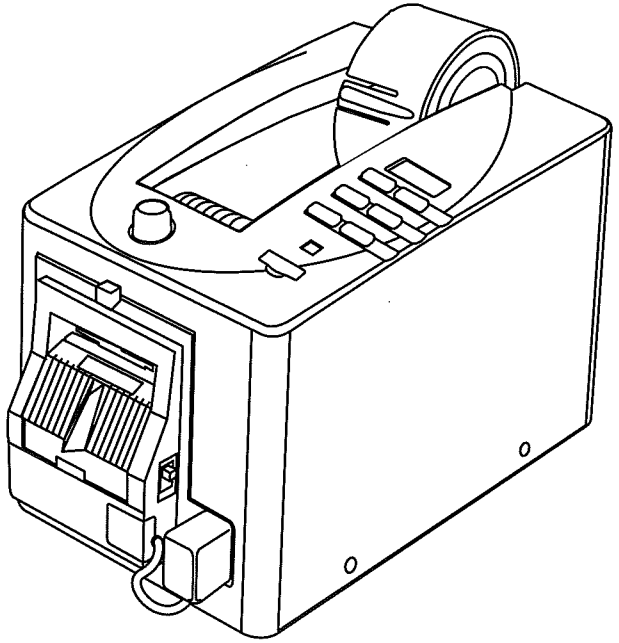
MAX®

電動テープカッタ
ET-5000 / ET-5100

取扱説明書



・ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読みください。
・この説明書と保証書は必ず保管してください。
・本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁止します。
・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する事があります。

1. 必ずお読みください

1.1 はじめに

この度は電動テープカッタ ET-5000（ET-5100）をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本機は、テープをカットすると自動（または手動）で設定されたサイズのテープが送り出され、どなたにも簡単な操作で、テープ貼り作業の効率化を実現します。作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

1.2 ご使用上の注意

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

●本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。
●本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載する事は禁じられています。
●本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきの事がございましたらご連絡ください。
●万一、本機でカットしたテープを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化した事で生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では、一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

2. 目次

1. 必ずお読みください …… 表2
2. 目次 …… 1
3. 安全にお使いいただくために …… 2
　3.1 ご使用上の注意 …… 5
4. 付属品を確認しましょう …… 5
5. 各部の名称 …… 5
　5.1 本体 …… 5
　5.2 操作部 …… 6
6. お使いになる前に …… 7
　6.1 本体の準備 …… 7
　6.2 テープのセット …… 7
　6.3 プレッシャーつまみの調整 …… 8
7. テープの送りかた …… 9
　7.1 テープ長さの設定 …… 9
　7.2 テープ長さの変更 …… 9
　7.3 手動送り（キー操作）で使用する …… 9
　7.4 自動送り（オートフィード）で使用する …… 10
　7.5 セーフティガード機構について …… 11
8. テープの交換方法 …… 12
9. オートフィードカッタの交換方法 …… 12
　9.1 取り外し方法 …… 12
　9.2 セット方法 …… 12
10. こんなときは …… 13
　10.1 故障かなと思う前に …… 13
　10.2 テープが詰まったときの取り出しかた …… 15
11. テープ押さえガイドの使いかた …… 16
12. ヒューズの交換方法 …… 16
13. お手入れの方法 …… 17
14. 特殊なテープについて …… 17
15. 製品仕様 …… 17

3. 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使い頂くためにいろいろな表示を使用しています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけない事が書いてあります。

お願い　機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照　説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■表示について

△	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
⃠	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の近くの表示は具体的な指示内容です。

	⚠ 警告
⃠	本機は絶対に**分解または改造しない**でください。火災・感電・故障の原因となります。
⃠	**本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない**でください。本機が故障したり、火災の、感電の原因になります。
⃠	**傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わない**でください。火災・感電・故障の原因になります。
●	**電源は AC100V 専用コンセントを使用してください。** AC100V 以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因になります。
⃠	電源は直接コンセントからとり**タコ足配線はしない**でください。火災の原因になります。
⃠	**電源コードの上に重いものを絶対にのせない**でください。電源コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。
⃠	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**でください。感電の恐れがあります。
⃠	**水、薬品などが機械にかからないようにしてください。**万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
⃠	**故障のまま機械を使わない**でください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
⃠	**カッタ部には、絶対に手や物を差し入れない**でください。機械の故障の原因になるばかりではなく身体上の危険を生じることがあります。
⃠	**本体は必ず水平に設置してください。**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

	⚠ 注 意
⊘	**大きな容量を必要とする機械**（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA 機器等）**とコンセントは共用しない**でください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
⊘	**コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしない**でください。火災や故障の原因になります。
⊘	**直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態でのご使用は避けて**ください。動作が不安定になったり、機械故障の原因になります。
●	**連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて**ください。
●	**電源プラグは定期的に清掃して**ください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
●	電源プラグを抜くときは、**電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いて**ください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
●	**設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って**ください。電源プラグをつないだまま移動させるとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。
●	**本機内部にテープ、異物等がはさまるなどで、正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。**機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
●	**オートフィードカッタユニットの取り外し時には指先と手等をはさまないように注意して**ください。けがの原因になります。
●	**本機を移動させる時は、本体底部を持って運んでください。**落下等でけが、故障の原因になります。

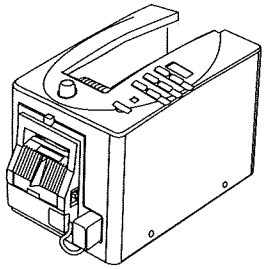
3.1 ご使用上の注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

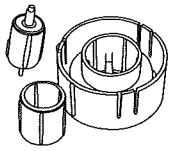
●コネクタピンに直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。
●本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。
●トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。
・直接日光のあたる場所やヒーター等熱源に近い場所
・ホコリや湿度の多い場所
・振動や衝撃の加わる場所
・温度が５℃以下、３５℃以上になる場所で使用しないでください。
・温度が０℃以下、４０℃以上になる場所に保管しないでください。
●落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。

4. 付属品を確認しましょう

本体

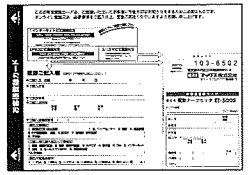


リール



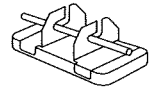
取扱説明書（本書）

保証書兼お客様登録カード



シリコンオイル 約 5cc

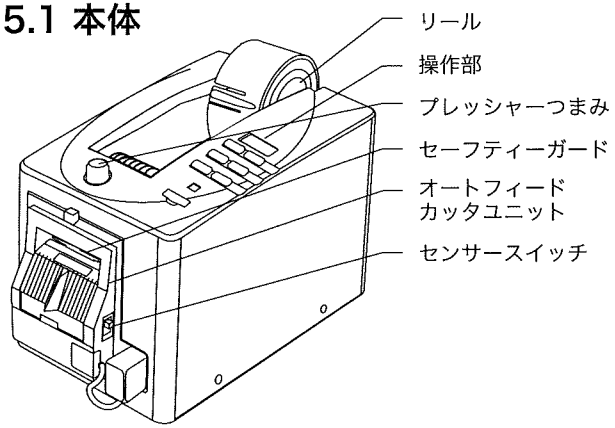
テープ押さえガイド

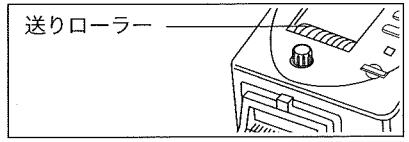


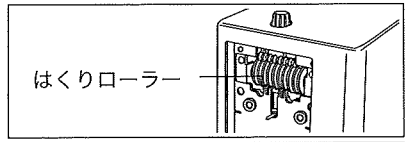
※ET-5100 に付属

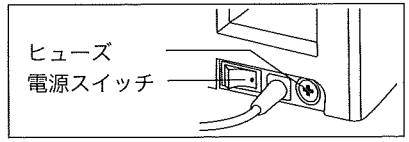
5. 各部の名称

5.1 本体



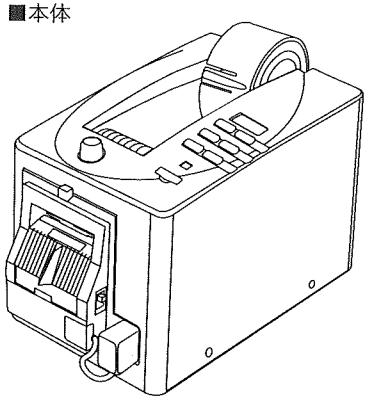




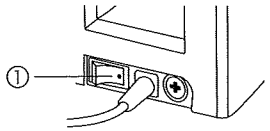


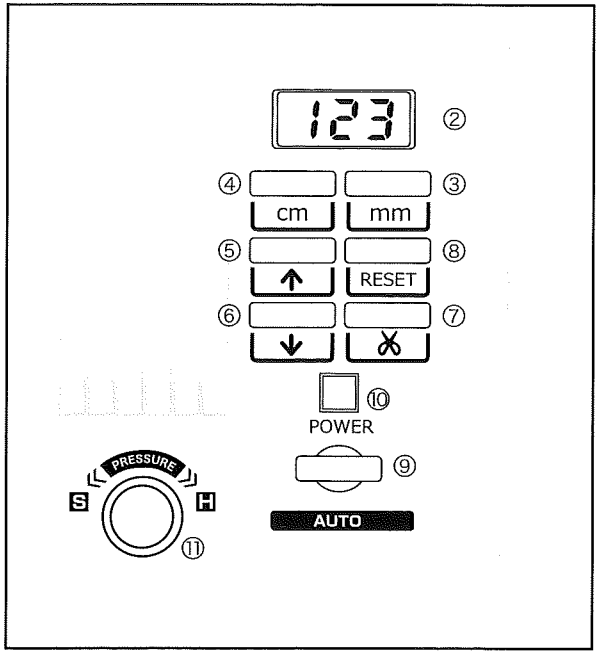
5.2 操作部

■本体



■本体後部



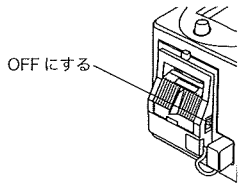


番号	名称	機能
①	電源スイッチ	ON 側に押すと電源が入ります。
②	表示部	最大３桁までのテープ長さを表示します。 何らかのトラブルが起こったときに「Err」「---」を表示します。
③	サイズ（mm）キー	０～９mm の下１桁を設定します。
④	サイズ（cm）キー	３～９９cm の上２桁を設定します。
⑤	リバースキー	送りローラーが逆転します。
⑥	送りキー	テープを出すときに押します。
⑦	カットキー	テープをカットするときに押します。
⑧	リセットキー	「Err」「---」を解除するときに押します。
⑨	オートキー	設定した長さを手動送りで使用するときに押します。
⑩	電源ランプ	電源が入るとランプが付きます。
⑪	プレッシャー（圧力）つまみ	テープの押さえ圧力を調整するときに使用します。

6. お使いになる前に

6.1 本体の準備

①電源スイッチを、「OFF」にします。
②オートフィードカッタのセンサースイッチを
「OFF」にします。（図１）
③オートフィードカッタユニットのコネクタが本体に
差し込まれている事を確認します。
④電源プラグをコンセントに差し込みます。
⑤電源スイッチを「ON」にします。
初めてお使いの場合には「３０」が表示されます。（図２）



（図１）

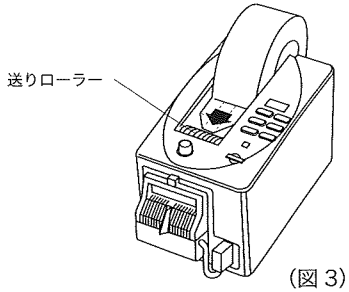
（図２）

メモ
表示している数値は本体に設定されている長さ（mm）です。

6.2 テープのセット

①リール（軸）を、後方へ引き抜いて外します。
②テープをリールにはめ込み、本体にセットします。

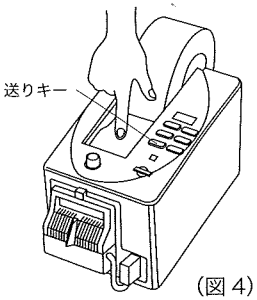
お願い
テープがリールの中央に位置するようにセットしてください。
曲がった状態でセットするとテープ詰まりや設定された長さにカットできない原因となります。



（図３）

③テープの先端を、送りローラー（銀色のローラー）の中央に
貼りつけます。（図３）

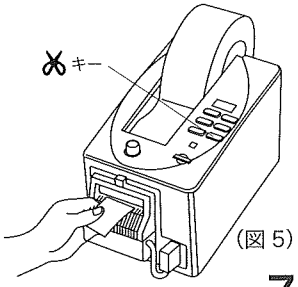
メモ
幅の広いテープの場合はテープの先端の角を折り曲げると
スムーズに送り出す事ができます。



（図４）

④貼り付けたテープの上を指で軽く押さえながら送りキー ↓ を
少しずつ、数回に分けて押してテープを送ります。（図４）

参照
テープが出てこないときは、13 ページを参照してください。



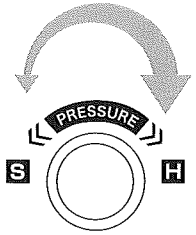
（図５）

⑤オートフィードカッタユニットのテープ出口から、テープを３～４cm
程度出します。
⑥カットキー ✂ を押します。テープがカットされますので、
カットされたテープを取り除きます。（図５）

6.3 プレッシャーつまみの調整

■プレッシャーつまみは、テープが正しく送り出されるように、テープを押さえているローラーの圧力を調整するための機能です。

テープを押さえる
圧力が弱い



テープを押さえる
圧力が強い

① テープの材質・性質にあわせて、テープを押さえる圧力を調整します。

テープの種類	プレッシャーつまみの調整目安
セロハンテープ、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、PP テープ	強める
片面はくり紙付き両面テープ (厚さ 0.5mm 以下) フィラメントテープ、クレープテープ	弱める

②送りキー ↓ を押し、テープを出して調子を確認します。

③次のような場合は調整してください。テープの材質・性質に合っていないことがあります。
状況に応じて調整してください。

状　況	圧　力	プレッシャーつまみの調整
テープが出てこないで詰まる	弱すぎる	H の方向へ 強める
	強すぎる	S の方向へ 弱める
テープがカールして出る	弱すぎる	H の方向へ 強める
テープが垂れ下がって出る	強すぎる	S の方向へ 弱める
テープに強い筋目が刻まれる	強すぎる	S の方向へ 弱める

※テープを正しく送り出すために、ある程度の押さえ圧力が必要です。
テープの種類により、筋目が出る場合があります。また、効果がない場合があります。

7. テープの送りかた

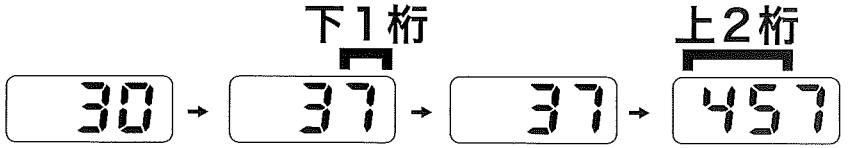
7.1 テープ長さの設定

■サイズキー **mm** を押すと、0mm～9mm までの、下 1 桁の mm の数字だけ変更できます。
■サイズキー **cm** を押すと、3cm～99cm までの、上 2 桁の cm の数字だけ変更できます。
■サイズキーを押し続けると、数字を早送りできます。

【例】457mm(45.7cm) にセットする。

①サイズキー **mm** を押して、下 1 桁を「7」に変更します。

②サイズキー **cm** を押し続けて、上 2 桁を「45」に変更します。



7.2 テープ長さの変更

①オートフィードカッタのセンサースイッチを「OFF」にします。

②サイズキー **mm** **cm** を押して、必要な長さに設定します。

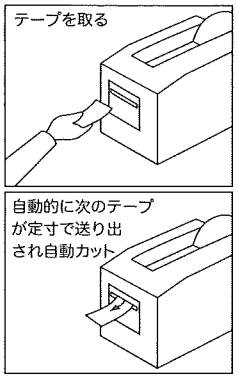
メモ
サイズキー **mm** を押しながら **cm** を押すと出荷時の「３０」に戻ります。

7.3 手動送り（キー操作）で使用する

①オートフィードカッタユニットのセンサースイッチを「OFF」にします。
②オートキー **AUTO** を押します。
③設定した長さのテープが送り出されて、カットされます。

メモ
設定した長さ以外に、いろいろな長さで出す場合には、
送りキー ↓ と、カットキー ✂ を利用します。

7.4 自動送り（オートフィード）で使用する



■センサーを利用して、自動送りができます。

①オートフィードカッタユニットのセンサースイッチを ON にします。

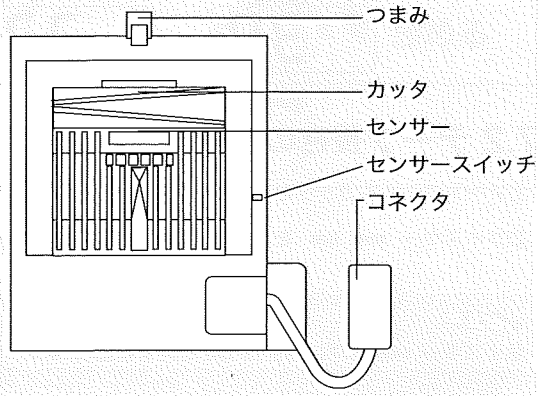
②設定した長さのテープが送り出されてカットされます。

③カットされた出口のテープを取り除きます。

④次のテープが送り出されてカットされます。

メモ

オートフィードカッタユニットのしくみ



■ カッタ刃とセンサーが一緒になったユニット部品です。

■ センサーはテープ出口にテープがあるか、無いかを検知する機能があります。（スイッチ ON の時）

■ テープが無いと検知したとき、本体に、次のテープの送り出しとカットを指令します。

※透明なテープのとき、テープがセンサーからズレたときなどテープを検知できず、送り出しが止まらなくなることがあります。

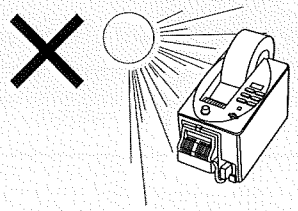
※光源の種類によって異なりますが、明るい場所でご使用になりますと、センサーが誤作動することがあります。

センサーの機能を妨げる明るさ目安

●明るい窓際に、センサーを向けている場合

●白熱灯　800 ルクス以上の場合（60W 灯下　45cm くらい）

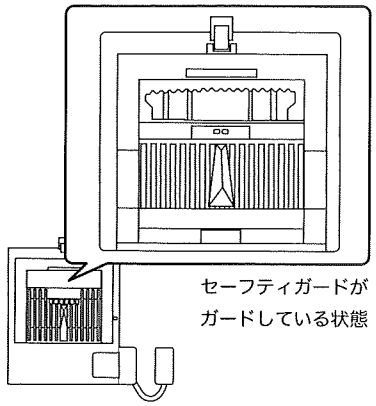
●蛍光灯　3000 ルクス以上の場合（40W 灯下　30cm くらい）



※オートフィードカッタユニットのお取扱いの際は、コネクタ部のピンが折れたり、曲がったりしないように十分注意してください。

＊屋外で使用する事はできません。

7.5 セーフティガード機構について


セーフティガードがガードしている状態

■セーフティガードとは、カッタ作動時にオートフィードカッタ内にテープ以外の異物を検知した場合、カッタの作動を停止させる装置です。

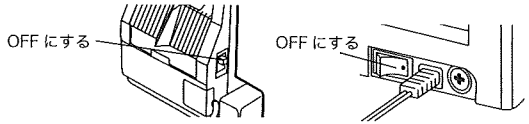
※テープ出口にテープ以外の物が挟まるとセーフティガードがカッタの作動を停止させ表示部に Err の表示が点滅します。

※セーフティーガードが上がっている状態でオートフィードカッタを本体にセットし、オートキー AUTO 、送りキーを ↓ 押すか、センサースイッチを ON にすると表示部に --- が点滅します。

■エラー Err --- の解除方法

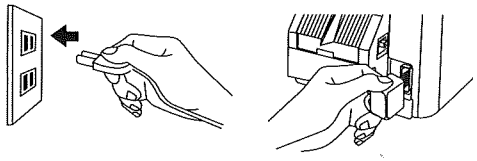
① Err --- 表示部が点滅していることを確認してください。

②オートフィードカッタセンサースイッチを「OFF」にします。



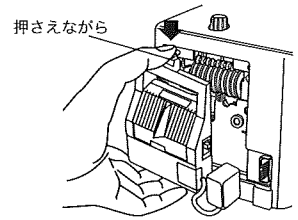
③電源スイッチを「OFF」にします。

④コンセントからプラグを抜きます。



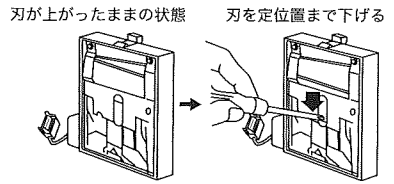
⑤オートフィードカッタ部のコネクタを抜きます。

⑥オートフィードカッタを外しドライバー等の工具でシャッター・カッタを上下させシャッター・カッタを定位置まで戻し、オートフィードカッタを本体にセットする。



⑦5→4→3→2 の手順で元に戻す。

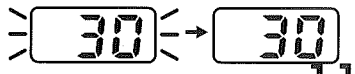
⑧リセットキー **RESET** を 1 回押す。
→表示部に設定寸法値が点滅表示されます。



⑨リセットキー **RESET** をもう一回押す。
→正常に作動する状態に復旧します。

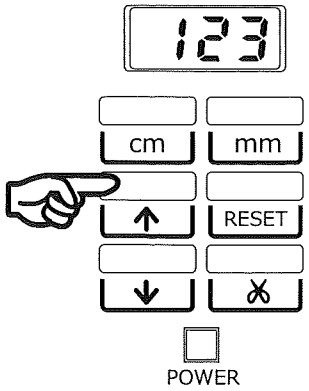
⑩ 設定値が、点滅したらもう一度リセットキー **RESET** を押してください。エラーが解除され正常に作動するようになります。

※図は設定値を「30」にしていた場合



8. テープの交換方法

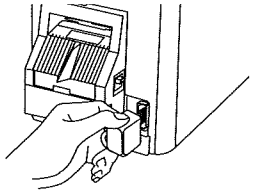
①オートフィードカッタのセンサースイッチを「OFF」にします。
②リバースキー　↑　を、少しずつ押してテープを逆転させます。
③テープを交換します。



参照
新しいテープのセット方法については、7ページの「6.2 テープのセット」をご参照ください。

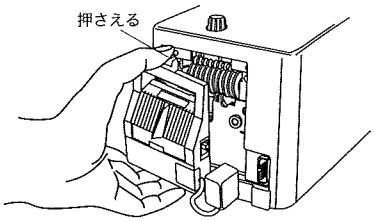
9. オートフィードカッタの交換方法

9.1 取り外し方法



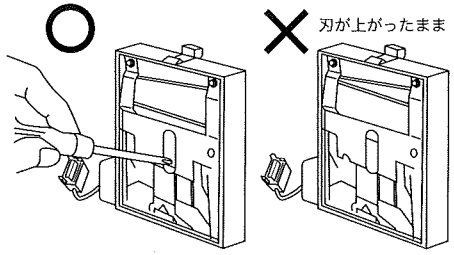
①電源を「OFF」にします。
②センサースイッチを「OFF」にします。
③コネクタをまっすぐに引き抜きます。
④オートフィードカッタユニット上部のつまみを押さえながら手前に引きます。

9.2 セット方法



①電源を「OFF」にします。
②センサースイッチを「OFF」にします。
③カッタの下刃とシャッターが下にさがっている事を確認します。

メモ
上がっている場合は、ドライバーなどで刃を下げてください。



④オートフィードカッタユニットの下部を本体に合わせてから、上部を押し込みます。
⑤コネクタを差込みます。

お願い
必ず電源を OFF にしておこなってください。誤ってキーを押した場合に作動する事があり危険です。

10. こんなときは

10.1 故障かなと思う前に

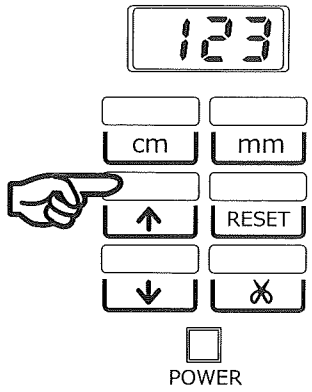
次のような場合は、下表に従いご確認をお願いします。表に従って対処しても解決できない場合は、故障の可能性があります。最寄の弊社営業所またはご購入販売店にご相談ください。

症状	確認内容	対処方法
テープが出てこない・詰まる	オートフィードカッタユニットが正しくセットされていますか。	オートフィードカッタユニットをはずして、正しくセットし直してください。
	オートフィードカッタユニットの中にテープが詰まっていませんか。	オートフィードカッタユニットをはずして確認してください。
	テープが出口の上側にあたっていませんか。	プレッシャー（圧力）つまみを (H) の方向へまわして調整してください。
		はくりローラーが磨耗している場合は交換してください。
	テープが出口の下側にあたっていませんか。	プレッシャー（圧力）つまみを (S) の方向へまわして調整してください。
	テープがはくりローラー内部に巻き込んでしまいますか。	
	テープの粘着剤は、シリコン系ですか。	そのテープは使用できません。
	テープをセットしたまま長時間使用にないで放置しましたか。	送りキー↓で少しテープを出してカット ✂ してからご使用ください。
	テープ巻の単体でテープをはがす時にはがしにくいですか。	テープ巻からはがしにくいテープは、使用できない場合があります。
カッタが切れない	カッタ刃に粘着剤が付いていますか。	除光液やアルコールなどで拭いて粘着剤を取り除いてください。
	テープの切り口が不揃いですか。	オートフィードカッタユニットの交換をしてください。（修理）
テープがカールする	テープを押さえる圧力が不足していませんか。	プレッシャー（圧力）つまみを (H) の方向へまわして調整してください。
		はくりローラーが磨耗している場合は交換してください。
テープの長さが設定どおりに切れない	テープ幅は細いですか。	ET-5100 の場合には付属の「テープ押さえガイド」をご使用ください。
		ET-5000 の場合には別売部品の「テープ押さえガイド」で補正する事ができます。
	使用テープは両面テープですか。	使用したい長さより若干短めに設定してください。
	使用テープは伸び縮みしますか。	伸び縮みするテープは、一定の長さに送れないので、正確にカットする事ができません。
	使用テープの粘着力は弱いですか。	販売店にご相談ください。

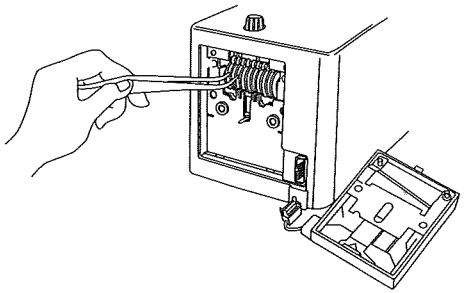
症状	確認内容	対処方法
自動送り（オートフィード）にならない	本体の電源は入っていますか。	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	オートフィードカッタユニットのコネクタが差し込まれていますか。	コネクタを正しく差し込んでください。
	オートフィードカッタユニットのセンサースイッチが「ON」なっていますか。	センサースイッチを「ON」にしてください。
	オートフィードカッタユニットのセンサー部が汚れていませんか。	綿棒・歯ブラシ等で汚れを取り除いてください。
		キー操作ができる場合は、オートフィードカッタユニットの故障が考えられます。オートフィードカッタユニットを交換してください。
	本体のキー操作はできますか。	キー操作ができない場合は、本体の故障が考えられます。修理を依頼してください。
リールにセットしたテープが揺らいでしまう	テープの内径は、製造メーカーにより異なりますので、合わない場合があります。	リールにテープを巻くなどして、リール径を調節してください。 また、特注リールをご希望の場合は、販売店にご相談ください。
自動送り（オートフィード）が止まらずに、テープが出続ける	テープが、センサーの中央を通っていますか。	テープがオートフィードカッタユニットのセンサーの中央上を通るように、セットしてください。
		細いテープ幅の場合は、テープ押さえガイドで補正してください。
	照明器具などの、強い光源が近くにありますか。	強い光源から離すか、センサーを光源の方へ向けないように設置してください。
	使用テープは透明ですか。	透明度が高いと、センサーが検知できない場合があります。
	テープの種類にかかわらず、止まりませんか。	センサーの故障が考えられます。 オートフィードカッタユニットを交換してください。
プレッシャーつまみが動かない	(H) か (S) のどちらかの方向にいっぱいまで回していませんか。	つまみを逆の方向に回してみてください。
キーが効かない	本体の電源が入っていますか。	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	ヒューズが切れていませんか。	ヒューズを交換してください。
Err と表示される	テープが詰まっていませんか。	テープを取り除いて、リセットキーを２度押してください。
	作動させるとすぐ Err になりますか。	部品の故障が考えられます。修理を依頼してください。
	高温な場所で使用していませんか。	5℃～３５℃の環境下でご使用ください。
	使用中に急に Err になりましたか。	基板の故障が考えられます。修理を依頼してください。
	オートフィードカッタに使用可能テープ以外の物を挟んでいますか。	挟んでいる物を取り除きリセットキーを２度押してオートフィードカッタユニットのリセットを解除してください。
--- と表示される	セーフティガードのシャッターが上がっている状態でオートフィードカッタユニットを本体にセットしましたか。	電源を「OFF」にします。コネクタとオートフィードカッタユニットを取り外してシャッターが「カチッ」となる位置まで下げてください。オートフィードカッタユニットとコネクタをセットし直して電源を「ON」にします。 リセットキーを２度押して --- を解除してください。

10.2 テープが詰まったときの取り出しかた

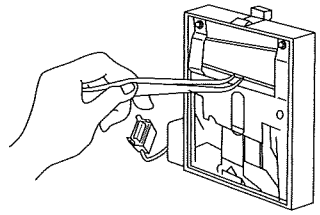
①リバースキー ↑ を、少しずつ押してテープを逆転させます。
②セットされているテープを送りローラーからはずしてください。
③戻した部分をハサミなどでカットしてください。



■テープが戻らないときは
①電源スイッチを OFF にします。
②テープの途中を、ハサミなどで切ってください。
③出口付近に詰まったテープを、ピンセットなどで、取り除いてください。

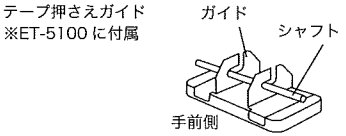


お願い
＊オートフィードカッタユニットの中のカッタのすきまに、テープが詰まることがあります。
詰まったテープを取り出すときは、直接手を触れずにピンセットなどを利用してケガをしないようにご注意ください。



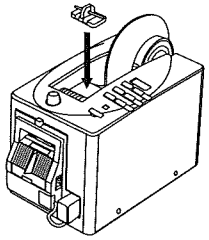
11. テープ押さえガイドの使いかた

■テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーから
はずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。

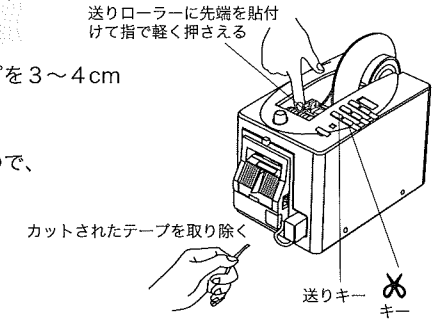


※セットする方向に注意してください。

①送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付け
てください。
②シャフトを外してください。
③ガイドの中央をテープが通過するようにして、テープの
先端を送りローラーの中央に貼付けてください。
④テープの幅に合うようにガイドを調整してください。
⑤シャフトをセットしてください。
⑥貼り付けたテープの上を指で軽く押さえながら送りキー ↓ を
少しずつ、数回に分けて押してテープを送ります。



参照
テープが出てこないときは、13 ページを参照してください。

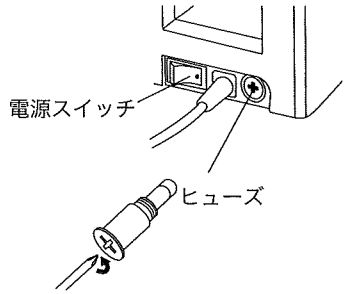


⑦オートフィードカッタユニットのテープ出口から、テープを３～４cm
程度出します。

⑧カットキー ✂ を押します。テープがカットされますので、
カットされたテープを取り除きます。

12. ヒューズの交換方法

①本体後ろ側のヒューズホルダーのキャップを、
（+）ドライバーで左に回してはずします。
②新しいヒューズに交換します。



メモ
交換ヒューズは、「ガラス管ミゼットヒューズφ5.2mm１A」
をご使用ください。

③キャップを（+）ドライバーで右に回してセットします。

お願い
電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
ヒューズが切れた場合は、原因をご確認のうえ、再発を防止してください。指定以外のヒューズは、
使用しないでください。原因不明の場合は、修理をご依頼ください。

13. お手入れの方法

■オートフィードカッタユニット
テープの粘着剤が取れないときは、除光液やアルコールを布などにふくませて、ふいてください。
カッタ刃にテープが付着しやすいときは、刃の部分にシリコンオイルを塗布してください。

■本体カバー
本体カバーは ABS 樹脂製品です。乾いた布で拭いてください。
キーの部分やオートフィードカッタユニットに水分がかからないようにご注意ください。

お願い
必ず、電源スイッチとセンサースイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

14. 特殊なテープについて

本製品は、一般的なテープに対応できるように設計されていますが、全てのテープに対応できるものでは
ありません。特殊なテープの場合は、販売店または弊社営業拠点にご相談ください。

15. 製品仕様

項目	仕様	
商品名	ET-5000	ET-5100
表示	3桁 LED デジタル表示	
使用可能テープ幅	7～50mm	5～50mm
テープ長さ設定範囲	30mm～999mm	
適用リール	3インチ (φ76mm) 、35mm 、1インチ (φ25mm)	
適用テープ外径	φ170mm 以下	
適用テープ種類	セロハンテープ、メンディングテープ、クラフト粘着テープ、 布粘着テープ、PP テープ、 片面はくり紙付き両面テープ（厚さ 0.5mm 以下）、 フィラメントテープ、クレープテープ ＊ただしテープの種類により不向きな場合があります。	
消費電力	21W	
電源	AC100V±10% 50/60Hz	
使用可能照度	蛍光灯 3,000 ルクス以下 (40W 灯下 30cm 程度)	
白熱灯	800 ルクス以下（60W 灯下 45cm 程度） ＊屋外使用は不可	
使用環境温度・湿度	温度：5～35℃ 湿度：80%RH 以下（ただし結露しない事）	
外径寸法	W137 × D249 × H169mm（リール装着時）	
質量	約 2.8kg	